

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

《無断転載禁止》

レジメン番号：CRC-110

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
大腸がん	Capecitabine 単剤	21日間	6か月	<input type="checkbox"/> 進行/再発 <input checked="" type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	軽度	N Engl J Med 352: 2696-, 2005

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
①	カペシタピン	2500mg/m ² /日 (1250mg/m ² /回)	内服	1日2回に分けて 朝夕食後	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓								

<注意事項/備考>

- ✓ Cape投与量：BSA<1.33m²：3000mg/day、1.33≤BSA≤1.57m²：3600mg/day、1.57≤BSA≤1.81m²：4200mg/day、BSA>1.81m²：4800mg/day
- ✓ 他のフッ化ピリミジン系薬剤と併用禁忌（前後7日間以上の間隔を空ける）
- ✓ Cape：食後30分以内に内服
- ✓ HFS：保湿剤で予防を。痛み、腫脹、水膨れなどの症状に注意
- ✓ 腎障害：重篤な腎障害（CCr<30mL/min）では投与禁忌。Ccr 30-50mL/minでは減量を（75%用量など）
- ✓